

■IR・楽天対応項目表

※Item Robotは、基本的にショップ別(ショップタブ)に入力されている値を優先しています。ショップ別データに入力が無い場合はメインデータの情報を利用します。

楽天 項目選択設定データベース(select.csv)		IR メインデータ (ir-item.csv)	IR 楽天ショップ別データ (ir-itemsub.csv)	IR 詳細項目画面 (ir-selection.csv)	IR ショップ別選択画面 (ir-selectionsub.csv) 在庫はir-selection.csv	IR オプション画面 (ir-itemoption.csv)
OSV出力名	管理画面での項目名					
項目選択設定用コントロールカラム	-	※1				
商品管理番号(商品URL)	商品管理番号(商品URL)	商品コード(楽天URL)	商品コード(楽天URL)	-	-	-
選択肢タイプ	在庫タイプ 項目選択肢>タイプ	在庫設定(在庫タイプ) ※2	-	-	-	オプションタイプ ※2
項目選択肢項目名	項目選択肢>項目名	-	-	-	-	オプション名
項目選択肢	項目選択肢>選択肢	-	-	-	-	オプション 選択肢名
項目選択肢別在庫用横軸選択肢	項目選択肢別在庫>横軸項目名 選択肢	-	-	選択肢1>項目名 ※3	選択肢のショップ別設定>選択肢1>項目名 ※3	-
項目選択肢別在庫用横軸選択肢子番号	項目選択肢別在庫>横軸項目名 選択肢子番号	-	-	選択肢1>子番号 ※3	選択肢のショップ別設定>選択肢1>子番号 ※3	-
項目選択肢別在庫用縦軸選択肢	項目選択肢別在庫>縦軸項目名 選択肢	-	-	選択肢2>項目名 ※3	選択肢のショップ別設定>選択肢2>項目名 ※3	-
項目選択肢別在庫用縦軸選択肢子番号	項目選択肢別在庫>縦軸項目名 選択肢子番号	-	-	選択肢2>子番号 ※3	選択肢のショップ別設定>選択肢2>子番号 ※3	-
項目選択肢別在庫用取り寄せ可能表示	項目選択肢別在庫>取り寄せ可能表示	-	-	※4		
項目選択肢別在庫在庫数	項目選択肢別在庫>在庫数	-	-	在庫登録	-	-
在庫戻しフラグ	項目選択肢別在庫>キャンセル時に在庫戻し	Item Robotから楽天へアップロードしているOSVには、この項目自体ありません。				
在庫切れ時の注文受付	項目選択肢別在庫>在庫切れ時でも注文可	-	-	在庫切れ時の注文	-	-
在庫あり時納期管理番号	項目選択肢別在庫>在庫あり時の納期	-	-	在庫あり時納期管理番号 ※5	-	-
在庫切れ時納期管理番号	項目選択肢別在庫>在庫切れ時の納期	-	-	在庫切れ時納期管理番号 ※6	-	-
タグID	項目選択肢別在庫>タグID	-	-	タグID	-	-
画像URL	項目選択肢別在庫>画像	-	-	画像	-	-
項目選択肢選択必須	項目選択肢>ユーザーからの入力	-	-	-	-	選択必須

◆Item Robotから楽天へアップロードするOSVに項目が無いものにつきましては、APIをご利用されていても値を送ることはありません。

また、楽天側でデフォルト値で書ききれない項目もありません。

◆アップロード方法はAPI・FTPのどちらかを選ぶことができます。

※1 選択できる項目はありませんが、FTPで連携する場合は、商品一覧画面にある「アップロード状況アイコン」でN(新規)、U(更新)を判断し、アップロード時に値を入れています。

APIで連携する場合は「アップロード状況アイコン」に左右されず、アップロード時にRMSの商品情報をチェックして、選択肢が未登録ならばN(新規)でアップロード、登録済みの場合はU(更新)でアップロードします。

※2 選択肢在庫を設定したい場合は「在庫タイプ」を選択し、選択肢を選択したい場合は「オプション」を設定してください。

在庫タイプを選択した場合は「i」、オプションの場合はそれぞれ選択したオプションタイプに合わせて「s」「e」「f」の値が出力されます。

※3 どちらにも入力した場合の優先度は「ショップ別選択肢画面」>「詳細項目画面」となります。

※4 対応はしていませんが、デフォルト値として「0(表示しない)」が出力されます。

※5 全て同じ「在庫あり時納期管理番号」を利用する場合は、ショップ情報管理の「在庫あり時納期管理番号初期値」に1つ入力するだけで同じIDが入る仕様となります。

「在庫あり時納期管理番号」にそれぞれ異なるIDを設定したい場合にも、選択肢画面で入力することをオススメします。

※6 全て同じ「在庫切れ時納期管理番号」を利用する場合は、ショップ情報管理の「在庫あり時納期管理番号初期値」に1つ入力するだけで同じIDが入る仕様となります。

「在庫切れ時納期管理番号」にそれぞれ異なるIDを設定したい場合にも、選択肢画面で入力することをオススメします。

は条件付きで対応されている項目です。

は全く対応されていない項目です。